

明日も、 えがおで 働きたい

京都で働く仲間たち

京都には、たくさん働く知的障害の方がいます。それぞれの仕事に誇りをもって、いきいきと働く彼ら・彼女らと、一緒に働く会社の方にお話を聞きました。





働く
仲間たち

仕事もダンスも大好き!!

仕事は、盛り付けと洗い物と掃除をしています。

やって楽しいのは、やっぱり盛り付け。

盛り付ける総菜の量を感じるのは大変だったけど、何回も何回も繰り返して

覚えたので、今では間違えずにできます。前よりずっと頑張れると思う(笑)

仕事が終わったらHIPHOPダンスを習いに行ってます。

できたら、このままずっとここで働きたいです。

佐々木 千瑛さん 入社 5年目

プロフィール:特別支援学校卒業後、
就労移行支援事業所に通所。
数々の実習で経験を積んだ後、
立命館生協に就職し、現職場に配属。

立命館大学諒友館食堂

店長 村川康雄さん

盛り付けは4名で作業していますが、振り分けられた作業は全て出来ますし、仕事の流れや手順は理解されているので、盛り付けが終わったら調理器具の洗い物や床・壁の清掃を自主的にしてくれています。

直接お客さんと顔を合わすことは少ないですが、職員とのコミュニケーションは良好で、皆に「千瑛ちゃん、千瑛ちゃん」と呼ばれ親しまれています。

他にも2名障害のある方が働いておられ、引き続き「働きやすい職場」になるよう配慮していきたいと考えています。



働く
仲間たち

源野 典行さん 入所：11年目

プロフィール: 養護学校(特別支援学校)を卒業し、塗装関係の仕事約22年勤務後、真宗大谷派宗務所(東本願寺)に就職。

早寝早起きが大事!!

東本願寺所有の庭園の清掃を8年した後、

研修部に来て建物内の清掃も

するようになりました。

初めは緊張したけれど、

崎田さんに教えてもらったので、

今ではいろいろな場所の清掃が出来ます。

掃除機の使い方にも慣れたし、

今は感染症にも気をつかい消毒作業も

ていねいにやっています。

仕事をしていてうれしいときは、

ここに寝泊まりして学ぶ人から

「きれいになったね。ありがとう」と言われた時。

ちゃんと仕事ができるよう

早寝早起きして、3食たべて、

体調に注意しています。

真宗大谷派宗務所(東本願寺)

研修部 書記 崎田 真人さん

研修部に来た頃は、とても不安だったのでしょうか。表情が硬かったのを憶えています。それでも、まじめに作業しようとする印象はありました。

はじめの頃に、掃除機など清掃に使う道具の使い方のコツを教えました。最初はぎこちなかったのですが、今は上手に使いこなせています。

とても愛想がよくて、色々な話をしてくれますよ。

作業面での配慮は、最初に場所を覚えてもらうため、施設内の配置図を渡しました。私が休みの時は、作業内容や場所を載せた作業リストを作成し、それに合わせて仕事をしてもらうように工夫しています。



事業所の方に聞きました。

ひとりひとりの個性を大切に

総務グループリーダー **平石 健さん** 人事総務部 **武部 吉輝さん**

様々な障害のある方を13名雇用しており、勤続40年を越えた方も複数おられます。

知的障害のある方は、現在6名働いていて、持てる力を存分に発揮できるように、ひとりひとりの個性を大切に作り組んでいるところです。

個性によっては、仕事を覚えるのに時間の掛かる場合もありますが、焦らずゆつくりと指導し、確実に覚えてもらうことで、自信を持って仕事に取り組めるようになってきました。

毎朝、ラジオ体操から始まり朝礼の時には、皆さん順番で自分の意見を発表する機会を持ち、「コミュニケーション能力の向上にも努めています」。

構内の清掃作業では、炎天下での草刈りなど大変な作業もありますが、定期的な休憩や水分補給など熱中症対策をしっかりと行い、安全対策に充分に気を配っています。

皆さん、それぞれに得意不得意があるので仕事の切り出しを考え、個人の適性に合った仕事をしてもらっています。無断欠勤もなく、「草刈り機を扱えるようになった」「この仕事が一番楽しい」といきいきと働いてくれていることがなにより嬉しく、長く働き続けられる環境を提供していきたいと思っています。

